

■アンケート調査の主な結果（速報）について

1 調査の概要

（１）調査目的

「第５次寝屋川市地域福祉計画」の策定に向けて、市内在住の18歳以上の市民、地域福祉に関わる活動や事業を行っている団体等を対象に、地域の現状や福祉に対する意識、取組状況等を伺い、計画策定の基礎資料とするためにアンケート調査を実施しました。

（２）調査の対象と実施方法

アンケート調査は、以下の２つの対象（市民、福祉関係団体等）に分けて、令和６年（2024年）９月に実施しました。今回よりインターネットを通じたWEB回答を受け付けるとともに、市ホームページでのお知らせや全対象者へ礼状兼催告状を送付し、回収率の向上を図りました。

調査対象	18歳以上の市民	福祉関係団体等
調査対象	市内在住の18歳以上の市民 （無作為抽出）3,477名	地域福祉に関わる活動・事業に取り組んでいる団体 603団体
調査方法	郵送による配布・回収（催告１回） 及びWEB回答を併用	郵送もしくは直接配布・回収（催告 １回）及びWEB回答を併用
調査期間	令和６（2024）年９月６日～９月30日*	
回収状況	有効回答数 1,872件 （うち紙 1,551件、WEB 321件） 有効回答率 53.8％（前回47.7％）	有効回答数 399件 （うち紙 320件、WEB 79件） 有効回答率 66.2％（前回54.9％）

*10月18日現在まだ回収受付中。本資料は10月15日回収分をもって入力・集計を行ったものです。

（３）本資料について

※アンケート調査結果における各設問の母数n（Number of caseの略）は、設問に対する有効回答者数を意味します。

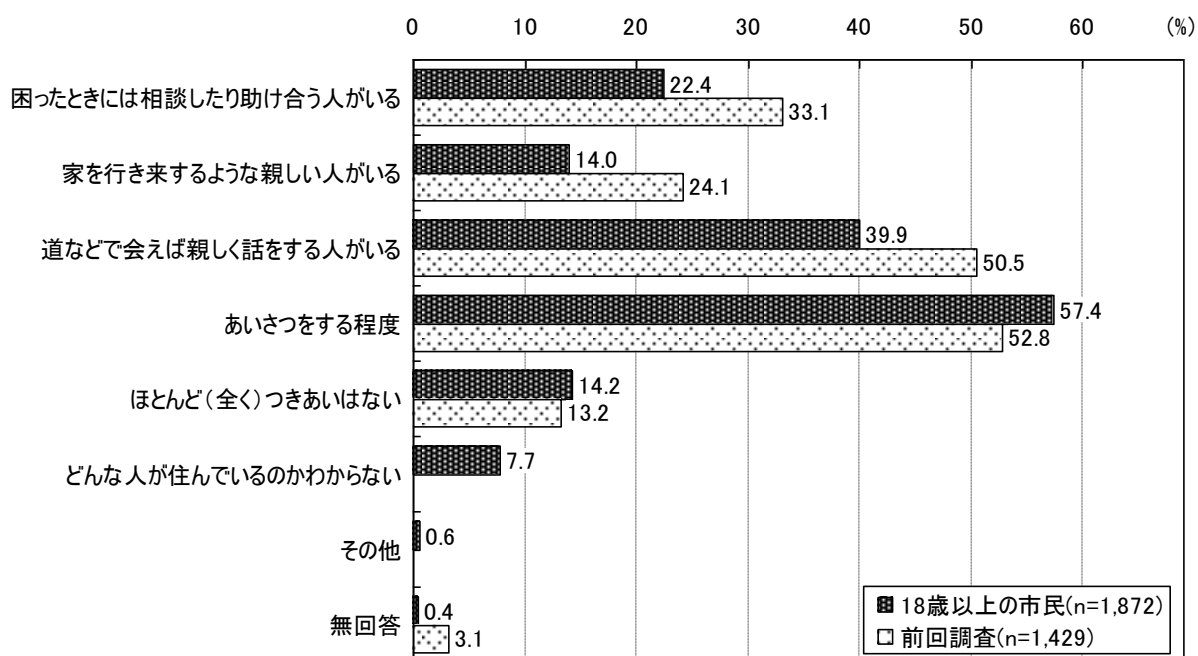
※各選択肢の構成比（％）は小数点第2位以下を四捨五入しています。このため、択一式の回答については構成比の合計が100％にならない場合があります。また、複数回答が可能な設問の場合、選択肢の構成比の合計が100％を超える場合があります。

※グラフ中の数字は、特に断り書きのないかぎりすべて構成比を意味し、単位は％です。

2 主な集計結果

① 近所づきあいの状況

◆近所の人とどの程度の交流がありますか。18歳以上の市民

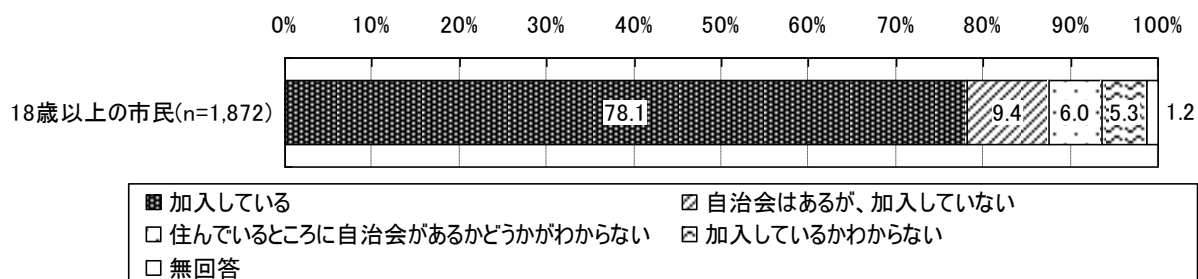


※前回調査は選択肢「どんな人が住んでいるのかわからない」「その他」は未設定

○「困ったときには相談したり助け合う人がある」「家を行き来するような親しい人がある」「道などで会えば親しく話をする人がある」と答える人が前回調査より大きく減っています。

② 自治会等への加入状況

◆あなたのご家庭は、お住まいの自治会に加入していますか。18歳以上の市民

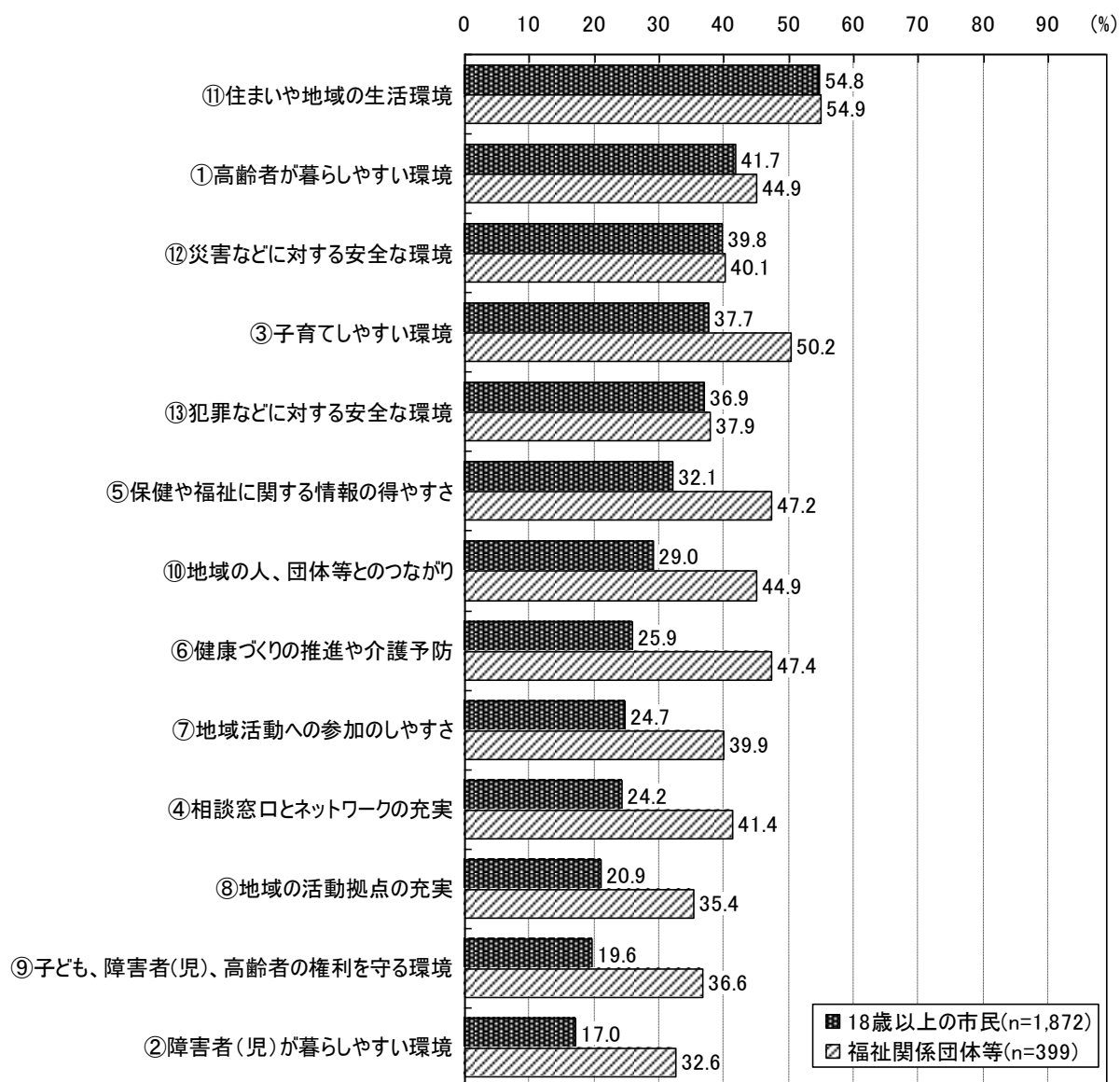


○自治会に「加入している」と答える人が78.1%を占めています。

③ 地域の環境についての考え方

◆現在お住まいの地域での暮らしに関する環境についてどのように感じていますか。

18歳以上の市民 福祉関係団体等



※「満足」「どちらかといえば満足」と答えた人の合計

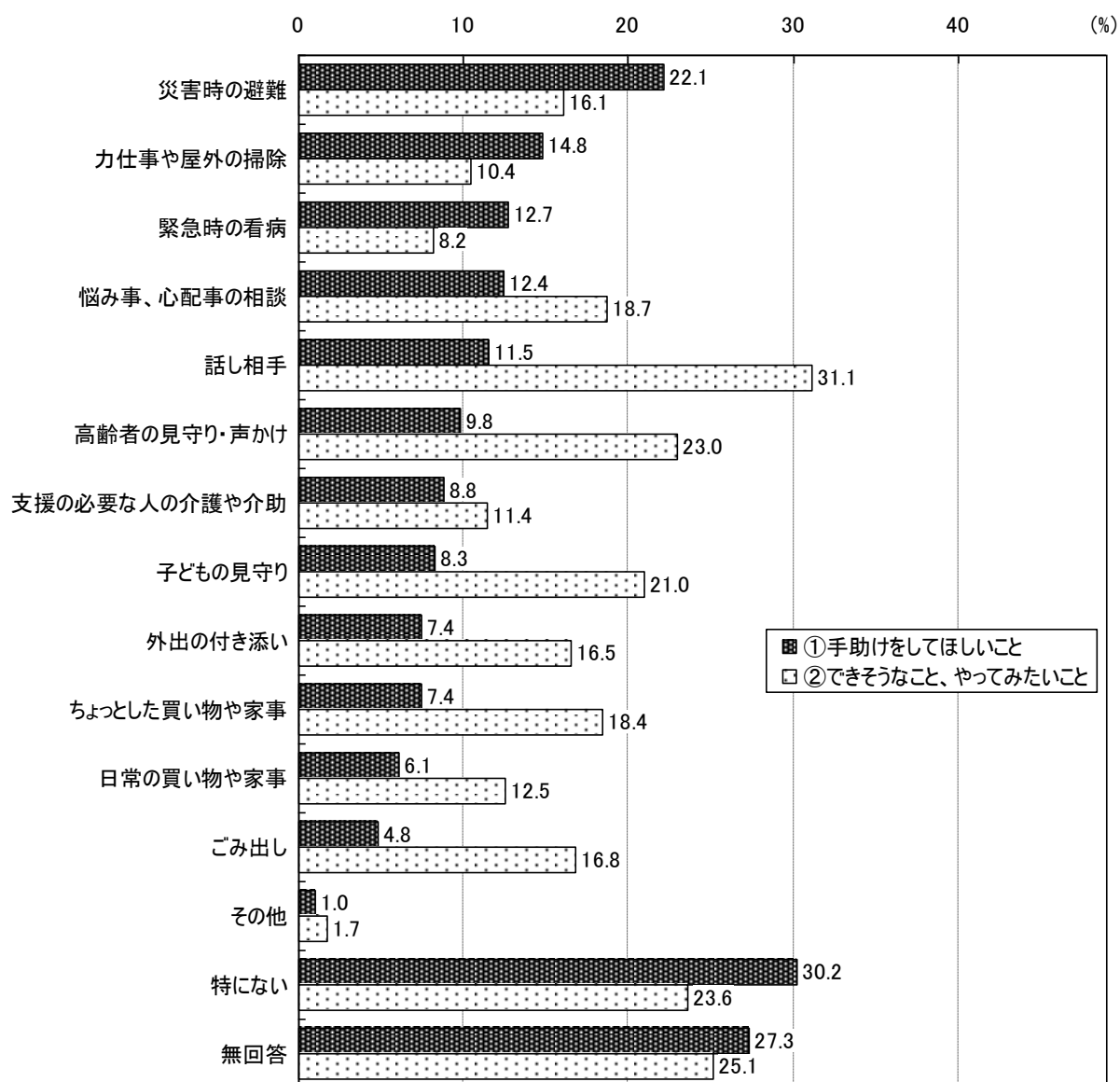
○「満足」「どちらかといえば満足」と答えた人の割合を合計すると、「⑪住まいや地域の生活環境」については18歳以上の市民、福祉関係団体等とも約55%が満足しています。

○満足している人の割合が低いものは、18歳以上の市民、福祉関係団体等とも「②障害者(児)が暮らしやすい環境」「⑨子ども、障害者(児)、高齢者の権利を守る環境」「⑧地域の活動拠点の充実」などとなっています。

④ 日常生活で手助けをしてほしいと思うこと、手助けができると思うこと

◆今後、ご近所とのおつきあいのなかで、あなたが「手助けをしてほしい」と思うことがありますか。また逆に、あなたご自身ができそうなこと、やってみたいと思うことがありますか。

18歳以上の市民



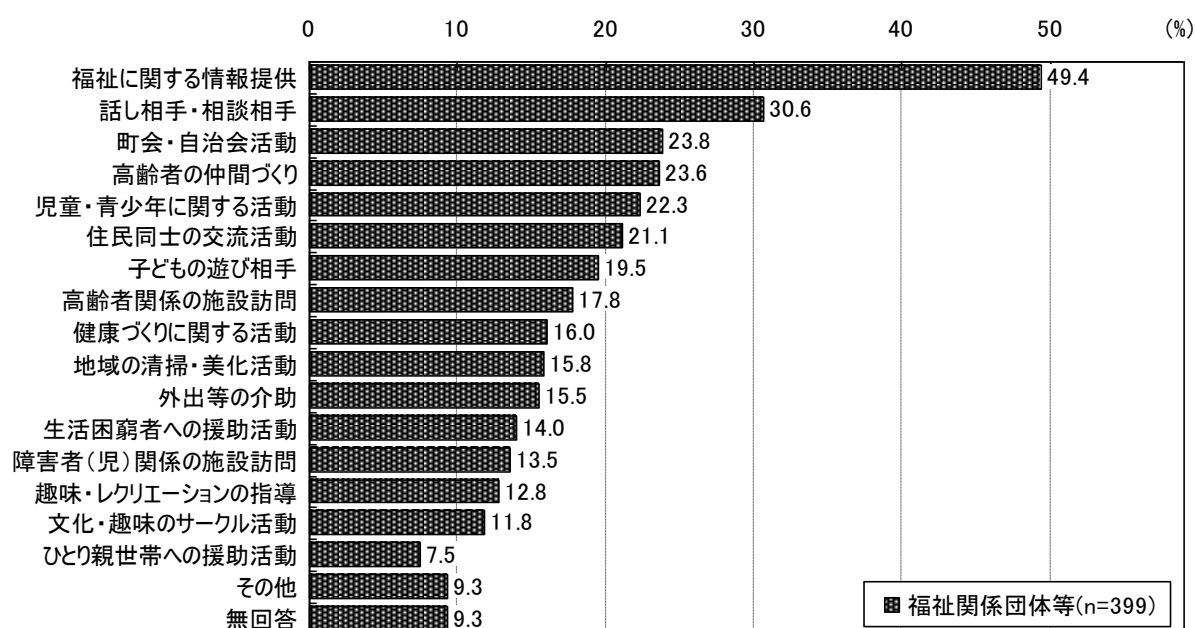
○「特になし」と無回答を除いて、近所づきあいを通じて何らかの手助けをしてほしいと思う人は 42.5%、回答者自身ができそうなこと、やってみたいことがあるという人が 51.3%となっています。

○手助けをしてほしい内容では、「災害時の避難」が最も多く、次いで「力仕事や屋外の掃除」となっています。

○できそうなこと、やってみたい内容としては「話し相手」が最も多く、次いで「高齢者の見守り・声かけ」や「子どもの見守り」となっています。

⑤ 市内で取り組んでいる福祉活動

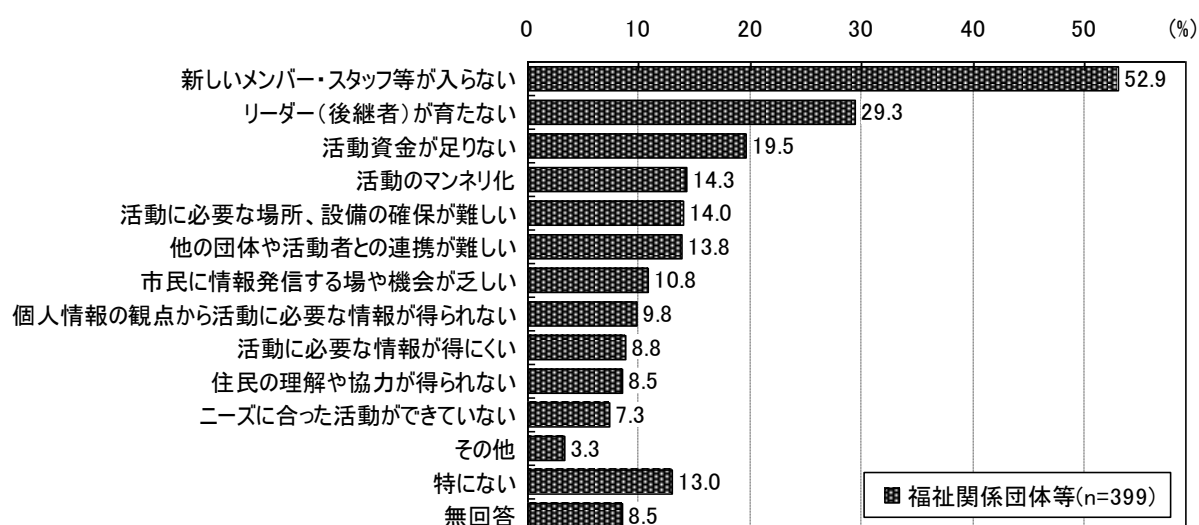
◆寝屋川市内において現在取り組んでいる活動がありますか。福祉関係団体等



○福祉関係団体等による活動内容として「福祉に関する情報提供」が49.4%と最も多く、次いで「話し相手・相談相手」「町会・自治会活動」「高齢者の仲間づくり」「児童・青少年に関する活動」「住民同士の交流活動」の順となっています。

⑥ 団体活動の問題点・課題

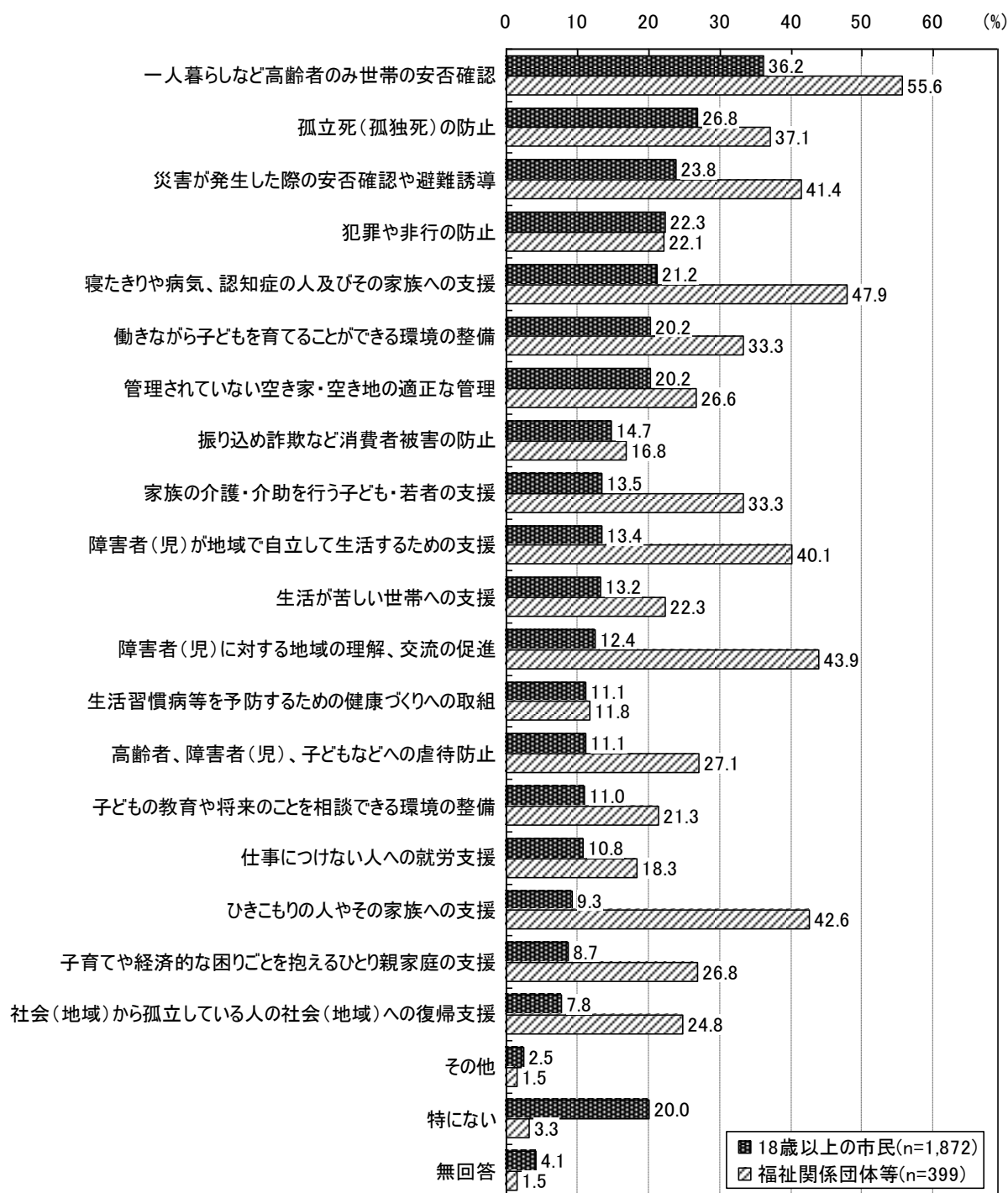
◆団体活動を行う上で、困っていること・課題は何ですか。福祉関係団体等



○団体活動上の課題として「新しいメンバー・スタッフ等が入らない」が52.9%と最も多く、次いで「リーダー(後継者)が育たない」「活動資金が足りない」の順となっています。

⑦ 地域で解決しなければならない課題

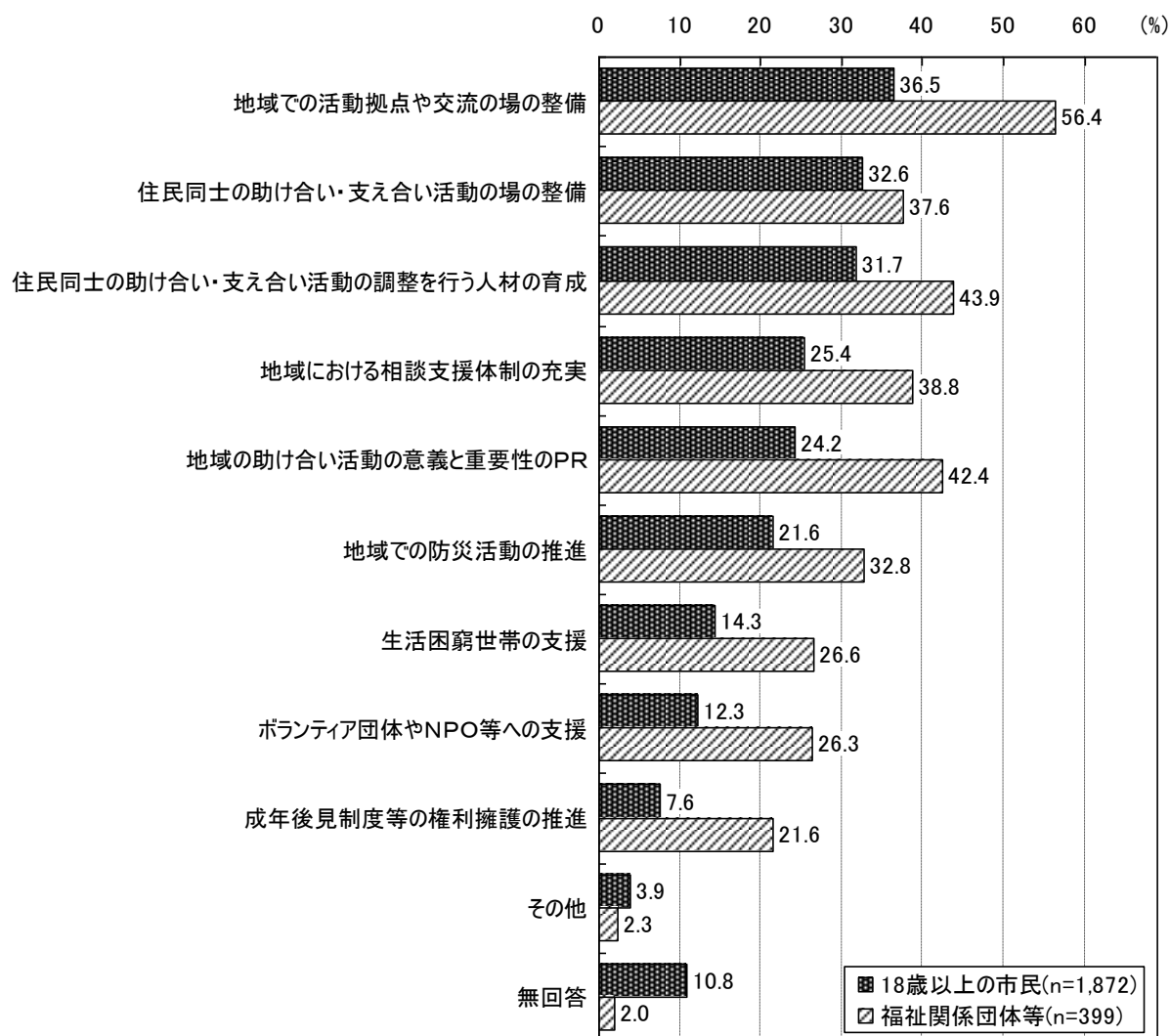
◆お住まいの地域（寝屋川市内）で日頃気になっていたり、課題と感じていることはありますか。
 18歳以上の市民 福祉関係団体等



○18歳以上の市民、福祉関係団体等とも「一人暮らしなど高齢者のみ世帯の安否確認」と答える人が最も多く、福祉関係団体等では「寝たきりや病気、認知症の人及びその家族への支援」「障害者(児)に対する地域の理解、交流の促進」「ひきこもりの人やその家族への支援」「災害が発生した際の安否確認や避難誘導」「障害者(児)が地域で自立して生活するための支援」と答える人も40%以上となっています。

⑧ 地域における助け合いや支え合いを活発にするために必要と思うこと

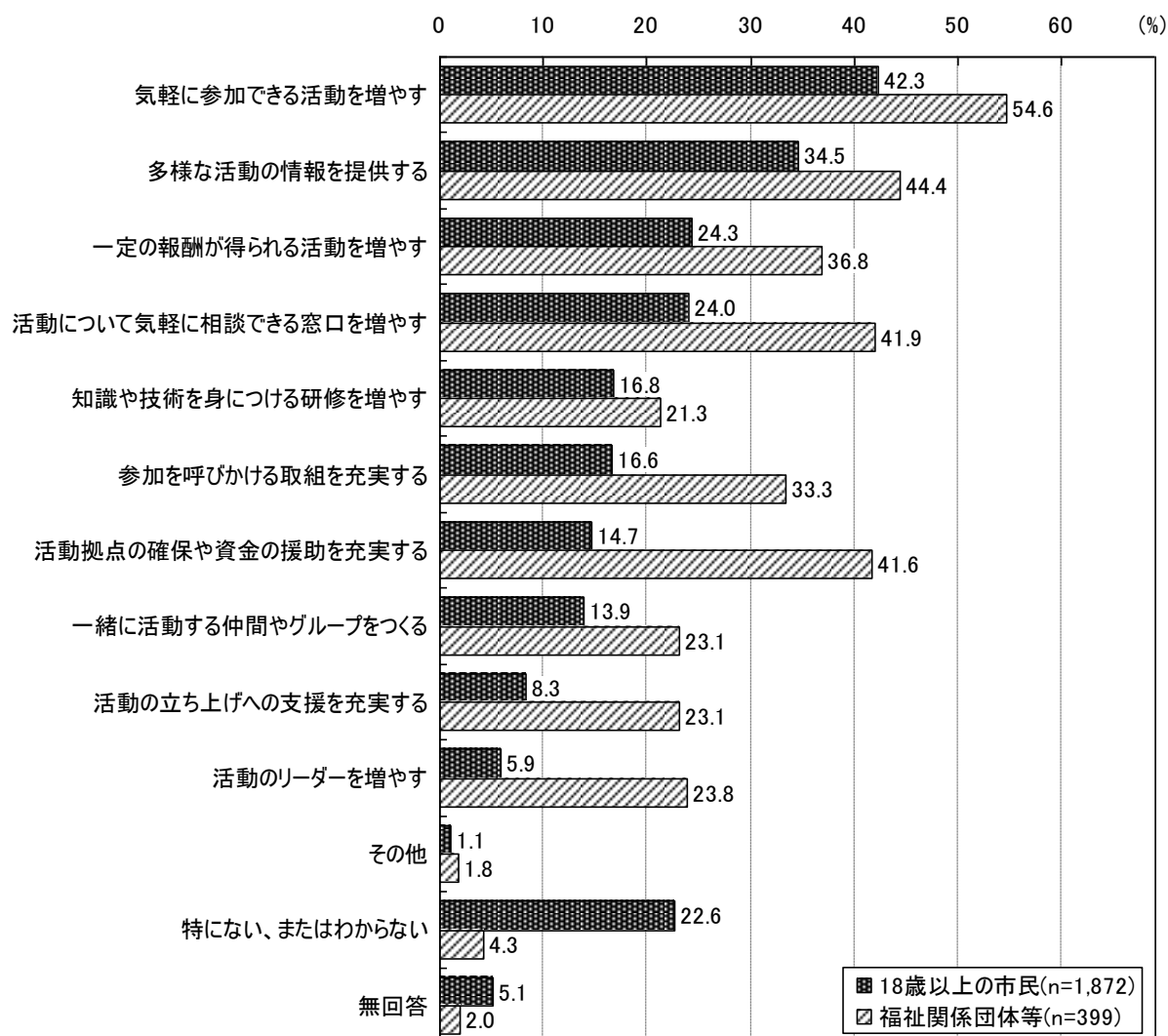
◆身近な地域における住民同士の助け合い、支え合いを推進していくためには、どのようなことに力を入れたらよいと思いますか。18歳以上の市民 福祉関係団体等



○18歳以上の市民、福祉関係団体等とも「地域での活動拠点や交流の場の整備」と答える人が最も多く、福祉関係団体等では「住民同士の助け合い・支え合い活動の調整を行う人材の育成」「地域の助け合い活動の意義と重要性のPR」と答える人も40%以上となっています。

⑨ 福祉活動への参加を促す取組

◆市民が福祉に関する活動にもっと参加するには、市や団体が行うどのような取組が“特に効果的”だと思いますか。18歳以上の市民 福祉関係団体等

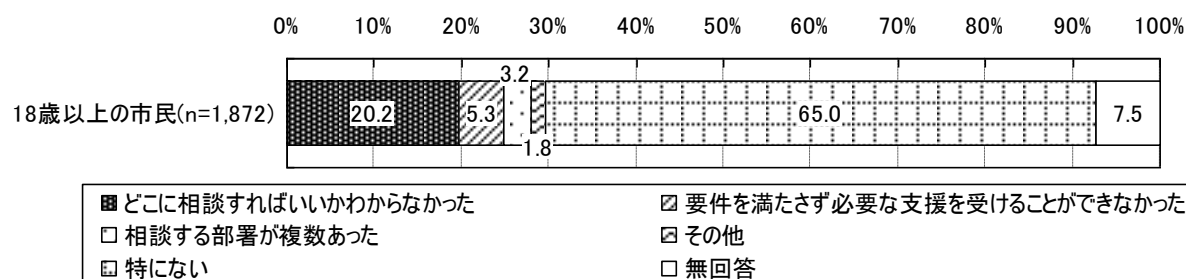


○18歳以上の市民、福祉関係団体等とも「気軽に参加できる活動を増やす」「多様な活動の情報を提供する」と答える人が多く、福祉関係団体等では「活動について気軽に相談できる窓口を増やす」「活動拠点の確保や資金の援助を充実する」と答える人も40%以上となっています。

⑩ 市に相談するときに困ったこと

◆あなたやご家族が抱える悩みについて、市に相談するときに困ったことがありますか。

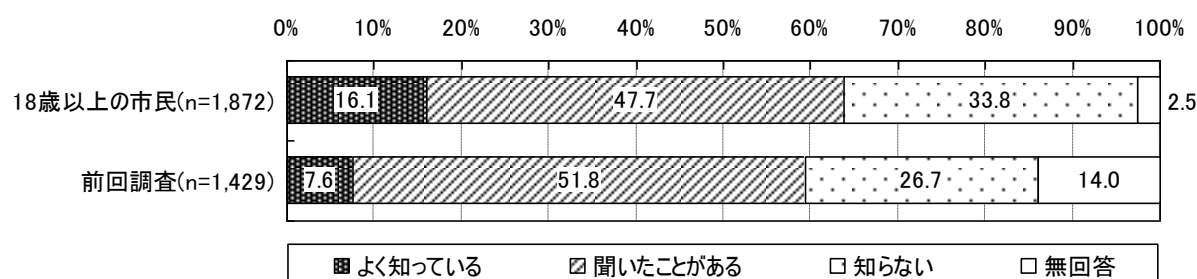
18歳以上の市民



○「特にな」という人が65.0%を占めており、困った経験のある内容としては「どこに相談すればいいかわからなかった」が20.2%となっています。

⑪ 成年後見制度の周知度

◆「成年後見制度」を知っていますか。18歳以上の市民

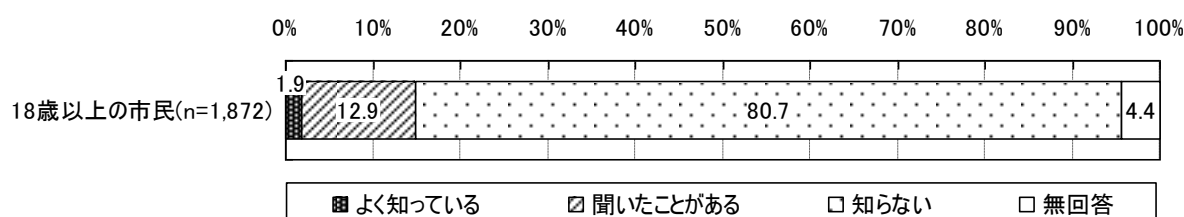


※前回調査は「よく知っている」「少し知っている」「よく知らないが聞いたことがある」「全く知らない」の4選択肢で、このうち「少し知っている」と「よく知らないが聞いたことがある」を『聞いたことがある』として取り扱った。

○「聞いたことがある」が47.7%、「よく知っている」が16.1%と、合わせて63.8%の人が成年後見制度について名前は聞いたことがあると答えています。前回調査の結果と比べると、「よく知っている」と答える人が増えています。

⑫ 市民後見人の周知度

◆あなたは、「市民後見人」について知っていますか。18歳以上の市民

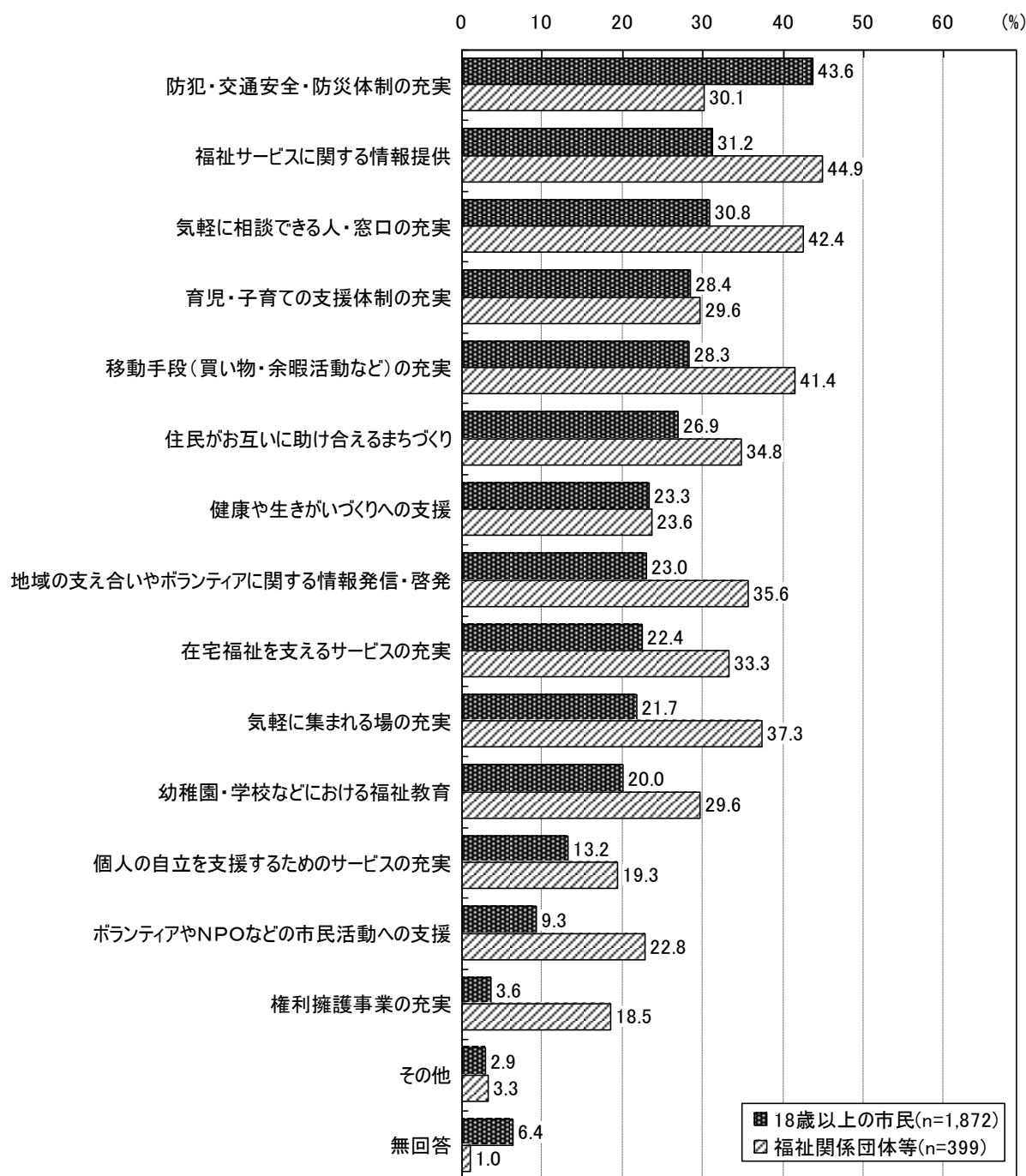


○「聞いたことがある」が12.9%、「よく知っている」が1.9%となっています。

⑬ 今後、寝屋川市として力を入れるべき内容

◆今後、寝屋川市としてどのような施策に力を入れるべきだと思いますか。

18歳以上の市民 福祉関係団体等



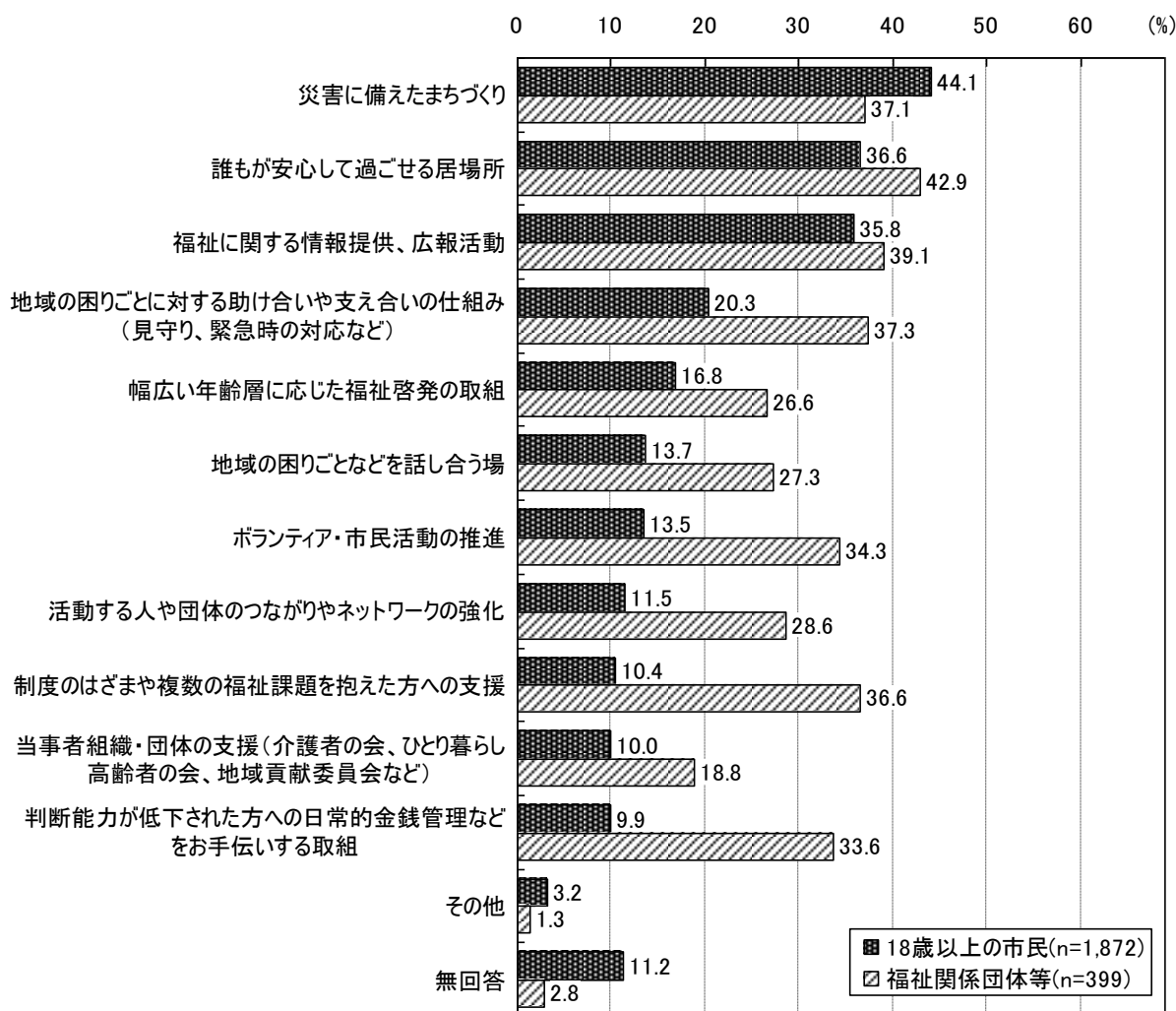
○18歳以上の市民では、「防犯・交通安全・防災体制の充実」が43.6%と最も多く、次いで「福祉サービスに関する情報提供」「気軽に相談できる人・窓口の充実」「育児・子育ての支援体制の充実」の順となっています。

○福祉関係団体等では、「福祉サービスに関する情報提供」が44.9%と最も多く、「気軽に相談できる人・窓口の充実」「移動手段(買い物・余暇活動など)の充実」と答える人も40%以上となっています。

⑭ 社会福祉協議会の活動で充実してほしいもの

◆社会福祉協議会の活動で、今後充実してほしいものはどれですか。

18歳以上の市民 福祉関係団体等



○18歳以上の市民では、「災害に備えたまちづくり」が44.1%と最も多く、次いで「誰もが安心して過ごせる居場所」が36.6%、「福祉に関する情報提供、広報活動」が35.8%となっています。

○福祉関係団体等では、「誰もが安心して過ごせる居場所」が42.9%と最も多く、次いで「福祉に関する情報提供、広報活動」「地域の困りごとに対する助け合いや支え合いの仕組み（見守り、緊急時の対応など）」「災害に備えたまちづくり」「制度のはざまや複数の福祉課題を抱えた方への支援」などの順となっています。